

YA21513

年度	配当	区分	科目名	担当教員	回数	単位
2021	前期	基本	職業倫理	斎藤亨 春日潤一 嶋矢剛	15	2

授業の目的

LEC 会計大学院の使命・目的の一つは、職業倫理観を備えた会計職業人の養成である。この目的のために、本授業では、前半は【理論編】として、倫理学の知見を踏まえながら、基本的な規範理論と倫理的思考方法を学習する。後半は【実践編】として、実際の倫理判断の制度的基礎を学習し、かつその上に立って倫理的な思考が行えるようになることを目指す。会計及び税務等の専門職業人として、また一人の社会人、人間として、倫理問題への対処とより良き生き方を学び、自ら考え、模索していく。

授業の到達目標

倫理に関する種々の考え方を理解し、かつ実際の倫理判断の制度的基礎と適用方法を知り、会計職業人としての倫理的判断の岐路に立った時に自主的に判断ができる人材の養成。

履修条件

会計、税務又は監査に関する一般的知識があること

授業計画

回	授 業 内 容	日 程
	【理論編（～第7回）】	
1	[職業倫理とは?][専門職倫理]というときの「倫理」とは何か。また、「専門職」とは何か。社会における専門職の位置づけをも通して考える。(春日)	4月6日(火) ⑤19:30-21:00
2	[基本的な倫理規範理論①]会計職業人の倫理といっても、まず考えるべきは人間の行為一般に関する倫理であろう。倫理学において基本的とされる規範理論のうち、功利主義について考える。(春日)	4月13日(火) ⑤19:30-21:00
3	[基本的な倫理規範理論②]前回に引き続き、人間の行為一般に関する倫理を考える。倫理学において基本的とされる規範理論のうち、義務論について考える。(春日)	4月20日(火) ⑤19:30-21:00
4	[経済活動の倫理①]顧客として会計職業人が関わることの多い企業は、現代における経済活動の主要な主体である。では、企業の経済活動にはどのような倫理的問題が関わってくるのだろうか。事例を通して考える。(春日)	4月27日(火) ⑤19:30-21:00
5	[経済活動の倫理②]前回での事例を通しての議論を踏まえ、企業の経済活動に関する主要な理論とその帰結について考える。(春日)	5月11日(火) ⑤19:30-21:00
6	[経済活動の倫理③]前回までの議論や理論の学習を踏まえて、企業の経済活動の自由について総括的に考える。(春日)	5月18日(火) ⑤19:30-21:00
7	[倫理的判断のための「構え」]専門職倫理というときの「倫理」とは何か。そしてそれを学ぶとはどういうことか?専門職倫理を学ぶにあたっての知的「構え」について考える。(春日)	5月25日(火) ⑤19:30-21:00
	【実践編（～第15回）】	
8	[公認会計士の職業倫理] 監査人という専門職と倫理観、公認会計士の職業倫理に関する諸規定（主に日本公認会計士協会会則および倫理規則）の概要を学習する。(嶋矢)	6月1日(火) ⑤19:30-21:00
9	公認会計士と税理士の職業倫理を考えるに際し留意すべき諸点を考える。プロフェッションの職業倫理とは何か、公共の利益とは何か、誰のためのものなのか、アマチュアとプロとプロフェッションとはどう違うのか、プロフェッションの特質とは、士業とは何か(斎藤)	6月8日(火) ⑤19:30-21:00
10	公認会計士の職業倫理、税理士の職業倫理とはいかなるものか、どのような対応をしなければならないかについて理解する。その他の専門職の職業倫理とはそれぞれどのようなものか、各業界ではどのように対処しているのか。(斎藤)	6月15日(火) ⑤19:30-21:00
11	倫理は教えられるか、倫理を学ぶとはどういうことか、倫理を習得し成長していくにはどうしたらよいか。自己規制と外的規制、自律と他律をどう捉えるか、倫理基準・マニュアルとはどういうものか、どう捉えるべきか。会計・税務のプロフェッションにとって仕事・職業をどう捉えたらいいのか。(斎藤)	6月22日(火) ⑤19:30-21:00

12	強欲について考えてみる、仕事、職業とは何か、人は生来善なるものか悪なるものか、人は一人でも生きられるのか、孤独を脱するにはどうしたらいいのか、自分で思考することについて考えてみる。(斎藤)	6月29日(火) ⑤19:30-21:00
13	会計不祥事、監査不祥事、脱税事例はなぜ起こるのか、企業、納税者にとどまらず、プロフェッションまでなぜ巻き込まれるのか。人の性は不祥事と言われるものどう結びついていくのか、どう捉えるべきか。古来より人はいかに生きるべきか、より良く生きるにはどうしたらいいのかを、どのように考えてきたのかを諸々の宗教の考え方も参考にしつつ探ってみる。(斎藤)	7月6日(火) ⑤19:30-21:00
14	倫理と人の幸福との結びつき、人が幸福を感じるには、より良く生きるとは、幸せに客観的基準はあるのか、倫理基準をどう受け止めたらよいか、プロフェッション業界の職業倫理研修はどのように受け止められているか。プロフェッションの実務における職業倫理と人としての倫理、所属する組織の論理との相克、葛藤をどう折り合いをつけていったらいいのかをあらためて考えてみる。(斎藤)	7月13日(火) ⑤19:30-21:00
15	[総合討議]履修者に提出してもらった事例レポートをもとに、会計士・税理士が実務上直面しがちな具体的な倫理問題について、事前に履修者に提出してもらった事例レポートを題材として、ディスカッションを行う。(斎藤、春日、嶋矢)	7月20日(火) ⑤19:30-21:00
試験	期末試験	7月27日(火) ⑤19:30-21:00

使用教科書/評価方法等

教科書	必要な資料はその都度配布。
参考書	<ul style="list-style-type: none"> ◆T・L・ビーチャム、N・E・ボウイ『企業倫理学1』加藤尚武監訳。晃洋書房。2005年。 ◆カント『道徳形而上学の基礎づけ』中山元訳。光文社文庫。2012年。 ◆ベンサム『道徳及び立法の諸原理序説』山下重一訳。中央公論社「世界の名著32」1967年。 ◆M・チェファーズ、M・パカラック『会計倫理の基礎と実践』藤沼亜起監訳。同文館出版。2011年。 ◆ファイファー、フォーズバーグ『48のケースで学ぶ職業倫理—意思決定の手法と実践』CENGAGE Learning。2014年。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ◆期末テスト(70%) *論述形式を予定。 ◆出席を含む授業への貢献度など(30%) *本講義では、最終回の総合討議の題材として、各履修者に「事例レポート」を書いてもらうことを予定しています(詳細は授業内で指示)。このレポートも「授業への貢献度」の評価要素として加味します。
その他	